

# 令和7年度事業計画書

令和7年3月



社会福祉法人松戸市社会福祉協議会

# 令和7年度 事業計画

## 目次

I	事業計画の方針	1
II	課別事業計画	3
1	地域福祉推進課	3
1-2	ボランティアセンター	8
1-3	地域生活支援センター	12
2	生活相談課	14
3	事業企画課	17
4	管理課	19
5	各課共通事業	22

※ 各事業には、令和7年度予算額、昨年度との比較及び主な財源の内訳を記載しています。

※ あわせて、《 》内に「ささえあいプラン」第6次松戸市地域福祉活動計画に掲げられた「私たちの取り組み」を記載し、各事業と活動計画との関連を表しています。

※ 各事業の表では、令和5年度の実績とともに令和6年度の現時点での実績見込および令和7年度の予算上の数値を記載しています。

# I 事業計画の方針

## (1) 事業計画の背景

松戸市社会福祉協議会（以下、「本会」という。）は、社会福祉法の規定により地域福祉の推進を目的として設立された団体です。そこで本会では、世代の違いや障がいの有無を超えて、誰もが支えあい、住み慣れた地域で安心・安全に暮らせる福祉のまちづくりという理念に基づき、行政や関係団体、地域住民の協力と参加により、市内15地区社会福祉協議会（以下、「地区社協」という。）とともに、各種社会福祉事業を展開しています。

また、本会は、令和5年度に行政計画である松戸市地域福祉計画と連動するかたちで、地域住民や団体が主体となり地域福祉を推進するための五か年の指針、第6次松戸市地域福祉活動計画を策定しました。令和7年度も引き続き、本計画に基づき、且つ新たに生じる福祉課題も視野に入れながら、地域住民や地区社協、関係団体と連携して、地域共生社会の実現に向けた各事業に取り組んでいきます。

## (2) 事業の方向性

地域福祉の推進については、市内15地区社協が地域の実情に合わせ、創意工夫を凝らして実施している各事業を引き続き支援するとともに、地区社協相互の情報交換と各事業のスキルアップを図るために研修会を実施します。また、小中高等学校や地域と連携して福祉教育を推進することで、世代の違いや障がいの有無を超えた交流や学びを通じて、地域の誰もが手を携えて支え合える地域づくりに取り組みます。

ボランティア活動の推進については、ボランティアを身近に感じてもらえるよう、ホームページやSNSを通して情報の発信を行います。また、継続した活動が難しい若い世代やボランティア活動に慣れていない人でも参加しやすい、単発のボランティア活動情報の収集・発信にも取り組みます。ボランティア育成講座は、時間数・期間を見直し、ボランティア活動を継続して参加できる機会の提供に努めます。

地域住民の助け合いに基づく有償在宅福祉サービスであるふれあいサービスについては、会員同士が今後も安全に活動を続けていけるよう、サービス内容等の一部見直して、事業を展開していきます。ファミリー・サポート・センターでは、育児支援を求める市民と子育て世帯を応援したいというボランティアに寄り添い、育児支援活動が継続できるように支援します。

市内では、様々な理由で生活困窮に陥った世帯が依然として多く存在しています。各種貸付事業やコロナ特例貸付償還業務においては、相談者や借受人に寄り

添いながら、行政や関係機関と連携し、自立した生活に向けた相談支援を進めます。また、学費の捻出が困難な世帯の学生、生徒に対しては、就学に必要な資金を貸し付けます。日常生活自立支援事業では、高齢者や障がい者等が地域で安心して生活できるよう、引き続き、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理の支援を行うとともに、利用者や利用を希望している方の相談支援体制を充実させ、関係機関と連携し、必要に応じて成年後見制度等につなげます。

最後に、社会・経済状況の変化に伴い、新たな財源の確保は喫緊の課題となっています。地域福祉の推進において重要な財源である会費や寄付について、引き続き広く市民に協力を呼び掛けるとともに、市民の理解と共感を得られるような事業に積極的に取り組んでいきます。

### (3) 重点項目

#### ① コロナ特例貸付の償還業務等貸付事業における相談支援体制の整備 (15 頁)

コロナ特例貸付の償還業務については、特例貸付債権管理事務事業として、従来の生活福祉資金貸付事業から区分けし、借受人や償還が滞った人に対する相談支援を強化します。

#### ② こどもささえあいファンドの設置と運営 (18 頁)

子どもの貧困対策を目的として、市民や団体、企業からの寄付を財源としたこどもささえあいファンドを設置し、関係機関と連携して、体験活動の支援、ベビー用品や学用品の提供、その他子どもの貧困対策に必要な支援を行います。

#### ③ 広報周知活動の強化 (22 頁)

本会事業を広く市民に周知するため、広報紙「まつど社協だより」の適切な配布方法の調査・研究を行うとともに、本会ホームページや各種 SNS の運営を積極的に進め、またデジタルサイネージ（電子看板）の活用も検討します。

#### ④ (仮称) こどもフェスタの開催 (23 頁)

障がいのある子どもたちとその家族が気兼ねなく過ごせる場を提供するとともに、保護者や支援者同士のつながりづくりを目的に、(仮称) こどもフェスタを新たに開催します。

## Ⅱ 課別事業計画

### 1 地域福祉推進課

#### 1 地区社協支援事業 予算額：99,970,000円（765,000円増）

〔財源：市補助金 71,080,000円（71.1%）、一般会費 23,989,000円（24.0%）、共同募金配分金 3,549,000円（3.6%）、繰越金取崩等 1,352,000円（1.3%）〕  
《地区社協を中心に地域の支え合いの力を結集しよう》

- 地区社協運営や事業に対し、助成金の交付、会議等への担当職員の参画、機材の貸出、事務局員の配置と事務局整備等により支援します。

〔助成金等種別〕

- ・地区社協助成金（行政補助金） 2,850,000円  
ふれあい会食会やホームヘルプ事業、高齢者孤独死対策推進事業等の各事業に関する助成金
- ・地区社協交付金（共同募金配分金・会費配分金・寄附金配分金） 25,463,800円  
ふれあい会食会・いきいきサロン・子育てサロン・結婚50年祝賀事業・ふれあい広場等の各事業、世帯数や会費納入に応じて交付する助成金
- ・地区社協事務局事務機器等の助成 255,000円  
事務局業務の遂行に係る事務機器の購入等の経費を助成

〔ふれあい会食会開催状況〕

区 分	ふれあい会食会		
	開催回数(回)	参加延人数(人)	ボランティア人数(人)
年 度			
令和5年度	183	9,050	2,767
令和6年度見込	174	8,640	2,708
令和7年度予算	174	8,899	2,716

〔ふれあい・いきいきサロン開催状況〕

区 分	ふれあい・いきいきサロン			
	会場数	開催回数(回)	参加延人数(人)	ボランティア人数(人)
年 度				
令和5年度	43	727	14,070	3,099
令和6年度見込	43	730	15,127	3,160
令和7年度予算	43	730	18,152	3,223

〔子育てサロン開催状況〕

年 度	区 分			
	子育てサロン			
	会場数	開催回数(回)	参加延人数(人)	ボランティア人数(人)
令和5年度	21	211	3,399	1,731
令和6年度見込	22	278	3,767	2,237
令和7年度予算	22	278	4,687	2,791

- 地区社協関係者の情報交換のため、会議等を開催します。  
〔開催予定〕
  - ・地区社協会長・事務局長会議（年1回）
  - ・地区社協ふれあい会食会担当者研修会（年1回）
  - ・地区社協ふれあい・いきいきサロン担当者研修会（年1回）
  - ・地区社協子育てサロン担当者研修会（年1回）
  - ・地区社協広報担当者研修会（年1回）
  - ・地区社協事務局員研修会（年1回）
  
- 地区社協活動の広報、周知をします。
  - ・市社協ホームページに15地区社協の広報紙を掲載し、地区社協の各事業について情報発信します。
  - ・まつど社協だよりに、地区社協の紹介記事を掲載します。
  
- 地域課題を把握し、地区社協を中心とした支え合い活動を推進するため、関係団体の会議に参画し、また地域ボランティア活動を推進します。  
〔参画状況〕
  - ・地域ケア推進会議・個別会議への出席
  - ・松戸市2層ワーキングへの参加

**2 結婚50年祝賀事業 予算額：1,796,000円（248,000円増）**

〔財源：共同募金配分金1,796,000円〕

《地区社協を中心に地域の支え合いの力を結集しよう》

- 結婚50年を迎える夫婦を祝福し、記念品を贈呈します。  
（令和7年度は昭和51年8月31日までに結婚した夫婦が対象です。）  
〔贈呈状況〕

年 度	区 分	贈呈数（組）
令和5年度		588
令和6年度		571
令和7年度予算		700

- 地区社協主催の祝賀会や役員訪問を通して贈呈します。  
〔祝賀会開催〕 6地区社協（常盤平団地、馬橋、小金、新松戸、矢切、明第2東）  
〔役員訪問等〕 3地区社協（常盤平、明第1、馬橋西）

3 福祉カー貸出事業 予算額：291,000円（9,000円減）

〔財源：共同募金配分金291,000円〕

《孤立しない地域社会をつくろう》

- 車いす利用者等の外出支援及び社会参加の促進、ならびに介護者の負担軽減のため電動スロープ・ウインチ付きで車いすを2台まで搭載できる福祉車両を無料（燃料代等は実費負担）で貸し出します。

〔貸出状況〕

区 分 年 度	稼働回数 (回)	稼働日数 (日)
令和5年度	21	26
令和6年度見込	36	67
令和7年度予算	40	70

4 福祉教育推進事業 予算額：581,000円（61,000円増）

〔財源：共同募金配分金491,000円（84.5%）、県社協補助金50,000円（8.6%）、市補助金40,000円（6.9%）〕

《心のバリアフリーを広げよう》《次代の担い手を地域で育てよう》

(1) 福祉教育活動の支援

- 福祉教育学習を推進する学校や地域からの要請に対し、職員や福祉教育サポーターを派遣します。

〔派遣状況〕

区 分 年 度	福祉教育支援件数				
	小学校	中学校	高等学校	団体・企業	合計
令和5年度	9	0	0	1	10
令和6年度見込	9	1	0	0	10
令和7年度予算	12	2	0	0	14

- 学校や地域での福祉体験学習を支援する登録ボランティア「福祉教育サポーター」を養成するとともに、既登録者には福祉教育の動向を知り、その意義を改めて学ぶ機会とするため、スキルアップの機会を設けます。

〔派遣状況〕

区 分 年 度	登録者数 (人)	派遣回数 (回)	派遣延人数 (人)
令和5年度	38	10	44
令和6年度見込	37	10	44
令和7年度予算	40	15	60

- 学校関係者との連携や福祉教育の理解を深めるための機会を設けます。
- 地域共生社会の実現に向けた多様な福祉教育メニューをつくるため、障がいのある人などの当事者や関係者と広く連携を図り、次世代に向けたプログラムづくりの調査・研究に取り組みます。
- 福祉体験を通してバリアフリーの意識を高めてもらうため、学校等に高齢者疑似体験用具・車いす・アイマスクと白杖等の福祉機器を貸し出します。

## (2) 福祉教育活動助成金の交付

- 学校カリキュラムにおいて幅広い福祉教育活動を展開してもらうため、市内の小・中・高等学校等に福祉教育活動助成金を交付します。

〔交付金額〕 1校あたり 15,000 円

〔交付実績〕

年 度	福祉教育活動助成金交付数 (校)			
	小学校	中学校	高等学校	合計
令和5年度	8	6	3	17
令和6年度	7	5	4	16
令和7年度予算	9	7	4	20

## (3) 福祉教育パッケージ指定の支援

- 千葉県社会福祉協議会から指定を受け、五香松飛台地区（令和6年度～令和8年度）の福祉教育推進地区の活動について事務局を担います。

〔指定校・指定推進団体〕 松飛台小学校、牧野原中学校、県立松戸国際高等学校、  
五香松飛台地区社協

〔福祉教育推進団体予算〕 千葉県社会福祉協議会から五香松飛台地区社協に 100,000 円  
交付

〔活動内容〕 福祉教育推進会議の開催（年3回）、学校と協働した福祉活動

## (4) ふくしコンソーシアムちばへの参加

- 産・官・学が相互に連携し、千葉県内の高等学校における福祉教育の質を高め、地域を支える人材を育成することを目的とした千葉県福祉関係高校人材育成支援チーム「ふくしコンソーシアムちば」に参加します。

**5 あんしん生活支援事業** 予算額：73,000円（増減なし）

〔財源：利用料73,000円〕

《孤立しない地域社会をつくろう》

- 親族等に日常生活の支援を依頼することが困難な70歳以上の独居の方を対象に、見守りや生活支援、相談援助を行うことにより、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活することができるように支援します。

〔事業実績〕

年 度	区 分	相談件数（件）
令和5年度		2
令和6年度見込		3
令和7年度予算		3

**6 松戸子育てフェスティバルへの参加** 予算額：50,000円（増減なし）

〔財源：雑収入50,000円〕

《安心して楽しく子どもを育てられる地域をつくろう》

- 子どもたちが地域の中で安心してのびのびと成長できるよう、子育て支援を行っているさまざまな団体と連携し、子育てフェスティバルに参加します。

**7 多世代まるごと居場所づくり事業** 予算額：11,259,000円（103,000円増）

〔財源：市受託金11,259,000円〕

《孤立しない地域社会をつくろう》

- 地域共生社会の実現に向けて、世代や属性を超えた関わりを通じて、地域の中での孤立を防止し、社会とのつながりを作ることを目的として、各地区で創出される居場所「まつどDEつながるステーション」の方針検討や各地区ステーションの進捗を管理する「居場所づくり全体会議」を開催します。
- 市内にある居場所相互のネットワーク化、情報共有及び「まつどDEつながるステーション」の周知のため、居場所づくりの意見交換会を開催します。

## 1-2 ボランティアセンター

### 1 ボランティアセンター事業 予算額：13,934,000円（1,009,000円減）

〔財源：市補助金 12,078,000円（86.7%）、共同募金配分金 1,213,000円（8.7%）、  
資産取崩等 490,000円（3.5%）、地域ぐるみ助成金 153,000円（1.1%）〕

《孤立しない地域社会をつくろう》《ボランティア活動に参加しよう》

《地域での支援にボランティアの力を活かそう》《次代の担い手を地域で育てよう》

- ボランティア活動の総合相談窓口であるボランティアセンターを運営します。  
ボランティア活動の拠点として、ボランティア活動をしたい人とボランティアの支援を  
求める人を結ぶボランティアコーディネートをを行い、ボランティア活動の活性化を図り  
ます。

#### 〔事業実績〕

区 分 年 度	個人ボランティア 登録者数 (人)	ボランティアグループ		ボランティア活動保険		ボランティア講座等	
		登録団体数 (団体)	会員数 (人)	加入者数 (人)	内、助成 対象者(人)	開催数 (講座)	参加者数 (人)
令和5年度	267	268	7,549	6,599	3,144	4	250
令和6年度見込	239	250	7,600	6,523	2,933	4	194
令和7年度予算	239	250	7,600	6,523	2,933	4	250

#### (1) ボランティア活動推進事業

- ボランティア活動者の相談に応じ、同行訪問による活動のサポートを行うなど実践活動  
の支援を行います。
- 新規のボランティア受け入れ施設等を開拓します。
- 毎週水曜日にボランティア室で切手整理活動を行います。整理した切手はNPO法人お  
誕生日ありがとう運動本部等への寄付等を通じて役立てます。
- ボランティアニーズに柔軟に対処できるように、市社協各課や関係機関と連携し、依頼  
者の自立に向けたボランティア活動に取り組みます。

#### (2) ボランティア活動に関する情報発信

- 「ボランティア情報紙」を年4回発行して、ボランティア募集情報や各種講座などの情  
報を発信します。支所や市民センター等の公共施設に配架します。
- ボランティアの基本やボランティア団体等の情報が満載の「ボランティアハンドブッ  
ク」を改訂し、誰もが気軽に活用できるように無料配布し、ホームページにも掲載しま  
す。
- ボランティア情報を手軽に入手できるよう、ホームページやSNSを利用して情報発信  
します。

### (3) ボランティア育成講座の開催

	開催月	内 容
1	5月	ボランティアカレッジスキルアップ研修 多様な活動ニーズに対応するため、ボランティアカレッジ卒業生を対象として、スキルアップ講座を開催します。
2	6月～11月	ボランティアカレッジ ボランティアに必要な知識の習得と実践活動を結び付けて継続して地域で活躍できる人材を育成します。
3	7月～8月	夏休みこどもボランティア福祉体験教室 児童生徒向けのボランティア及び福祉体験講座。ボランティア活動や体験を通して福祉の視点を育みます。
4	3月	ボランティア登録更新手続き会 ボランティア登録更新とボランティア活動保険の加入手続きを行います。

### (4) ボランティア活動保険事業

- ボランティア活動者が安心して活動できるように各種ボランティア保険の加入手続きおよび事故対応を行います。
- 継続したボランティア活動の勧奨を目的に、ボランティア活動保険の保険料を一部補助します。また学生及び被災地支援ボランティアの保険料一部補助を行い、学生の社会参加と、被災地支援ボランティア活動の推進を図ります。

### (5) 福祉施設・福祉団体等支援事業

- ボランティア室の貸し出しをします。
- 福祉団体登録証（市役所交付）・ボランティア登録証の交付手続きを行います。
- ボランティア団体及びボランティア連絡協議会に対して活動費の助成を行い、各団体の活動が活性化するよう支援します。
- ボランティア団体及びボランティア連絡協議会に対して活動費や地域ぐるみ福祉振興基金の助成を行い、各団体の活動が活性化するよう支援します。

[交付実績]

年 度	区分		ボランティア連絡協議会加盟団体		住民参加型在宅福祉サービス団体		ボランティア連絡協議会助成金 (円)	合計 (円)
	団体数 (団体)	合計金額 (円)	団体数 (団体)	合計金額 (円)				
令和5年度	12	125,000	1	8,000	38,000	171,000		
令和6年度見込	11	114,000	1	8,000	38,000	160,000		
令和7年度予算	17	182,000	2	16,000	38,000	236,000		

## (6) おもちゃの病院事業

- 壊れたおもちゃの修理を通して子どもたちに物の大切さを伝えるとともに、ボランティア活動の場を提供するために、松戸ボランティアの会に「おもちゃの病院」の運営を委託し、ふれあい22及び青少年会館で開院します。

〔開催場所〕

- ・ふれあい22 創作活動室1（毎週金曜日、第2土曜日）
- ・青少年会館 美術室（第1・3木曜日）

〔開催実績〕

年 度	依頼件数 (件)		Dr. 参加延人数 (人)	
	ふれあい22	青少年会館	ふれあい22	青少年会館
令和5年度	338	103	641	179
令和6年度見込	392	222	687	177
令和7年度予算	437	146	651	178

## 2 介護支援ボランティア事業 予算額：13,529,000円(2,359,000円減)

〔財源：市受託金13,529,000円〕

《ボランティア活動に参加しよう》《地域での支援にボランティアの力を活かそう》  
《健康づくりを心がけよう》

- 松戸市民で65歳以上の方の社会参加と地域貢献を支援し、活動者の健康増進と介護予防を推進するとともに市民が協働して生き生きとした地域社会を作ることを目的に、市内の高齢者施設、障がい者施設、放課後児童クラブ(学童)、グリーンスローモビリティ地域推進事業でボランティア活動を行う介護支援ボランティア事業を実施します。
- 登録説明会を市内各市民センター等で定期的に行い、登録者を増やします。
- 活動者の1年分のポイント交換申請を受け付け、交付金・障がい者就労施設の生産品・社協寄付金に交換します。
- 受入施設での体験会などのイベントを開催し、登録者の活動を促します。
- 受入対象施設に対して介護支援ボランティア制度の説明を行い、登録を働きかけます。
- 高齢者施設の入所者が、支えられる側から支える側という役割を持つことにより、一人ひとりが能力に応じ、自分らしく活躍できる場や機会を設け、高齢者の尊厳を保持していくため、入所者における介護支援ボランティア事業を実施します。

〔登録・開催状況〕

年 度	登録者数 (人)	入所者登録者数 (人)	グリスロ登録者数 (人)	延活動者数 (人)	登録説明会開催回数(回)	体験会開催回数(回)
令和5年度	503	15	73	1,909	13	15
令和6年度見込	535	35	122	2,900	12	5
令和7年度予算	565	36	130	3,000	12	5

### 3 オレンジ協力員推進事業 予算額：11,334,000円（1,096,000円減）

〔財源：市受託金 11,334,000円〕

《孤立しない地域社会をつくろう》《障がいのある人も住みやすい地域をつくろう》

《地域での支援にボランティアの力を活かそう》

- 認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指して、認知症の人を支援するオレンジ協力員推進事業運営業務を行います。
- 施設での活動を希望するオレンジ協力員のコーディネートを行います。
- 認知症の人への具体的な支援方法やボランティア活動の心得について、オレンジ協力員ステップアップ研修を年6回開催します。
- 地域包括支援センターや認知症関連機関と連携して事業を推進します。
- 受入対象機関に対して、オレンジ協力員推進事業の説明を行い、登録を働きかけます。

〔登録・開催状況〕

区 分 年 度	登録者数 (人)	延活動者数 (人)	実活動者数 (人)	研修会等 参加人数(人)
令和5年度	613	4,110	303	169
令和6年度見込	681	4,700	350	160
令和7年度予算	777	4,935	360	170

## 1-3 地域生活支援センター

### 1 ふれあいサービス事業 予算額：30,664,000円（1,260,000円増）

〔財源：市補助金 19,876,000円（64.8%）、利用料 6,779,000円（22.1%）、  
資産取崩等 4,009,000円（13.1%）〕

《地域での支援にボランティアの力を活かそう》

- 高齢者やその家族、心身に何らかの障がいのある人の負担を軽減し、住み慣れたまちで安心して暮らし続けられるように、地域住民の参加と協力を得て、会員制の有償在宅福祉サービスを提供します。

〔援助実績〕

区 分 年 度	家事援助		介護援助		合計	
	派遣回数 (回)	派遣時間数 (時間)	派遣回数 (回)	派遣時間数 (時間)	派遣回数 (回)	派遣時間数 (時間)
令和5年度	3,016	4,318.0	473	1,081.0	3,489	5,399.0
令和6年度見込	2,934	4,109.0	358	744.0	3,292	4,853.0
令和7年度予算	2,800	3,800.0	300	600.0	3,100	4,400.0

- 地域の中で活躍できる人材を育成するために各種研修を開催します。
- ふれあいサービス会員同士の交流を図るよう研修会を開催し、共に支え合い助け合う地域福祉の意識向上を図ります。

### 2 訪問型生活支援・困りごとサービス事業 予算額：1,941,000円（138,000円減）

〔財源：介護報酬 1,316,000円（67.8%）、市補助金 600,000円（30.9%）、  
利用料 25,000円（1.3%）〕

《地域での支援にボランティアの力を活かそう》

- 介護保険法等に基づき、利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、松戸市介護予防・日常生活支援総合事業における訪問型生活支援サービス及び訪問型困りごとサービスを提供します。
- 社会貢献に意欲が高い高齢者の活躍の場を確保するとともに、利用者とサービス実施者相互の介護予防効果を高めます。

〔援助実績〕

区 分 年 度	サービス 実施者数 (人)	生活支援サービス			困りごとサービス		
		年度末 利用者数 (人)	派遣回数 (回)	派遣時間数 (時間)	年度末 利用者数 (人)	派遣回数 (回)	派遣時間数 (時間)
令和5年度	115	16	698	680.8	4	129	79
令和6年度見込	130	18	644	625	4	88	46
令和7年度予算	150	18	640	640	4	80	50

**3 まつどファミリー・サポート・センター事業** 予算額：21,273,000円（787,000円増）

〔財源：市受託金 20,471,000円（96.2%）、利用料等 802,000円（3.8%）〕

《安心して子どもを育てられる地域をつくろう》

《地域での支援にボランティアの力を活かそう》

- 育児の援助を行いたい人(提供会員)と、援助を受けたい人(利用会員)が会員となり、育児の助け合いを行う会員組織で、その会員相互による育児の援助活動の調整や担い手の育成等を行います。
- 保育施設への送迎や子どもの預り等の育児支援事業と、出生後の母子の支援を行う出生直後支援事業を行います。

〔会員・支援状況〕

区 分 年 度	会員数（人）			派遣回数（回）	
	利用会員	両方会員	提供会員	育児支援	出生直後支援
令和5年度	518	3	471	4,859	330
令和6年度見込	565	4	457	5,398	204
令和7年度予算	565	4	457	5,668	210

**4 養育支援訪問事業** 予算額：13,103,000円（505,000円増）

〔財源：市受託金 13,103,000円〕

《安心して子どもを育てられる地域をつくろう》《高齢者・障がい者・子どもなどへの虐待を防ごう》《地域での支援にボランティアの力を活かそう》

- 妊娠期から未就学の子どものいる家庭のうち、養育支援が特に必要であると松戸市が判断した家庭に対して、養育支援員がその居宅を訪問し、育児・家事の援助や養育に関する指導や助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保することを目的とします。
- 松戸市が特に援助が必要であると判断した家庭に対してヤングケアラーやその保護者の負担を軽減するために小学校就学以降の子どもがいる家庭を対象に、養育支援員を派遣します。
- 支援に必要な知識と技術の習得を図るため、研修を行います。

〔支援状況〕

区 分 年 度	対象世帯数 (世帯)	訪問回数 (回)	育児援助時間 (時間)		家事援助時間 (時間)		不在回数 (回)	支援員数 (人)
			平日	時間外	平日	時間外		
令和5年度	30	564	847.5	0	254	0	99	24
令和6年度見込	30	494	943	0	—	—	78	18
令和7年度予算	31	509	971	0	—	—	80	19

## 2 生活相談課

### 1 福祉相談事業 予算額：585,000円（20,000円増）

〔財源：共同募金配分金 333,000円（56.9%）、市補助金 252,000円（43.1%）〕

《孤立しない地域社会をつくろう》

《誰もが安心して相談できる場を確保しよう》

- 市民の日常生活上での心配ごと、悩みごとの相談に応じ、その解決に努め、安心して生活ができるように、福祉相談を実施します。

〔開催会場〕

- ・市社協 相談室 （毎週水曜日、第1・4金曜日）
- ・六実支所 （第1火曜日）
- ・小金原市民センター（第1木曜日）

〔相談件数〕

区 分 年 度	相談件数	
	人数（人）	件数（件）
令和5年度	56	86
令和6年度見込	56	82
令和7年度予算	58	96

- 相談・支援体制の充実を図るために、福祉相談員対象の勉強会を開催します。

### 2 生活福祉資金貸付事業 予算額：16,416,000円（716,000円増）

〔財源：県社協受託金 16,416,000円〕

《生活基盤を整えて自立した生活を送ろう》

- 所得が比較的少ない方、高齢者、障がい者世帯に対して生活福祉資金の貸付を行い、必要な相談を行うことで、その世帯の経済的な自立や生活の安定を支援します。
- 学費のねん出が困難な世帯の学生、生徒に対し、就学に必要な資金を貸し付けます。

〔相談・貸付・償還対象状況〕

区 分 年 度	新規貸付 相談件数（件）	貸付件数 （件）	本則償還 連絡調整（件）
令和5年度	1,059	156	2,606
令和6年度見込	1,130	130	2,800
令和7年度予算	1,140	130	2,800

**3 特例貸付債権管理事務事業** 予算額：36,261,000円（増減なし）

〔財源：県社協受託金 36,261,000円〕

《生活基盤を整えて自立した生活を送ろう》

- コロナ特例貸付等の貸付を受けた方に対して、償還等自立支援に関する相談支援を行います。〔コロナ特例貸付決定総件数：11,882件〕

〔相談・貸付・償還対象状況〕

区 分 年 度	特例貸付償還 連絡調整（件）	償還訪問件数
令和5年度	2,121	-
令和6年度見込	10,000	300
令和7年度予算	10,500	600

**4 日常生活自立支援事業** 予算額：42,727,000円（3,381,000円増）

〔財源：市補助金 29,623,000円（69.3%）、県社協受託金 10,355,000円（24.3%）、  
利用料 1,839,000円（4.3%）、資産取崩 910,000円（2.1%）〕

《地域での支援にボランティアの力を活かそう》

《尊厳ある生活を守ろう》

- 日常生活を送る上で、高齢者や障がい者が地域で安心して生活できるように、関係機関と連携を図りながら、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理の支援を行います。

〔相談・契約状況〕

区 分 年 度	相談件数 （件）	相談・訪問 調査延件数 （件）	利用者数 （人）	新規契約 件数（件）	解約件数 （件）
令和5年度	141	1,483	73	21	18
令和6年度見込	160	2,200	84	33	22
令和7年度予算	165	2,300	95	33	22

- 利用中の方、利用を希望している方の相談・支援体制を充実させ、判断能力が低下した方には成年後見制度を利用できるよう、関係機関との連携を図ります。
- 担い手となる生活支援員のスキルアップを図るために、生活支援員対象の勉強会を開催します。

## 5 交通遺児に対する助成事業

- 千葉県社会福祉協議会で行っている交通遺児に対する見舞金、勉学奨励金・激励金や、受験費用助成金の申請の窓口を担っています。

[交付件数]

年 度	区 分	見舞金 交付件数 (世帯)	勉学奨励金 交付件数 (人)	激励金 交付件数 (人)	受験費用 助成金 (人)
令和5年度		1	1	0	0
令和6年度見込		0	1	6	3
令和7年度予算		1	1	3	1

## 3 事業企画課

### 1 法人運営 予算額：85,849,000円（3,493,000円増）

〔財源：市補助金 63,797,000円（74.3%）、市受託金 10%事務費 6,220,000円（7.2%）、資産取崩 5,979,000円（7.0%）、収益事業利益 4,389,000円（5.1%）、市・県社協受託金 2,281,000円（2.7%）、賛助会費 1,500,000円（1.7%）、繰越金取崩等 1,683,000円（2.0%）〕

#### （1）理事会・評議員会等の運営

- 福祉を取り巻く社会情勢の変化や多様化・複雑化する地域のニーズに即応するため、理事会・評議員会等を開催し、本会の地域福祉事業を推進します。
- 令和7年度は理事、監事及び評議員の改選年度にあたるため、必要な手続きを進めます。

・ 三役会	年5回開催
・ 理事会	年6回開催
・ 評議員会	年3回開催
・ 評議員選任・解任委員会	年2回開催
・ 監事監査	年1回開催

#### （2）理事担当委員会

- 理事が担当する企画財政委員会及び在宅福祉委員会を運営します。

#### （3）他機関・他団体との連携事業

- 他機関・他団体との連携を図るため、各種行事やイベント等に参加します。
- 松戸市及び千葉県社会福祉協議会等が設置する各委員会等への役員及び職員の参画や、外部団体への職員の講師派遣等を行います。

#### （4）法人運営費

- 法人全体を運営するため、備品の管理、行政や千葉県社会福祉協議会、関係団体等との連絡調整、その他法人運営に必要な財務業務を行います。
- 法人運営のために、会計業務、積立金の管理、労務管理等を行います。
- 社会保険労務士と顧問契約を結び、労務管理を強化するとともに、労働環境の整備にも取り組みます。

**2 こどもささえあいファンド運営事業** 予算額：3,151,000円

〔財源：寄付金 2,740,000円 (87.0%)、繰越金取崩 411,000円 (13.0%)〕

- 子どもの貧困対策を目的に、市民や団体、企業からの寄付を財源とした「こどもささえあいファンド」を運営します。
- 「こどもささえあいファンド」の活用については、関係機関とネットワークを構成し、下記の支援を行います。
  - (1) 体験活動の支援
  - (2) ベビー用品、学用品の支援
  - (3) こどもの給付レスキュー事業

## 4 管理課

### 1 役員・職員研修事業 予算額：277,000円(7,000円増)

〔財源：収益事業利益277,000円〕

- 役員及び職員が社会福祉の現状について学び、業務上必要な知識や技術の習得を図るため各種研修会に参加します。
- 計画的な人材育成と職員体制の維持を目的に、階層別研修に積極的に参加します。
  - ① 階層別研修
    - 〔新人職員対象〕 接遇マナー研修、福祉入門講座、キャリアパス研修（初任者編）
    - 〔中堅職員〕 キャリアパス研修（中堅職員編）、キャリアパス研修（チームリーダー編）
    - 〔管理職員〕 キャリアパス研修（管理職員編）、市町村社協事務局長会研修会
  - ② テーマ別研修
    - 千葉県コミュニティソーシャルワーカー育成研修、企画・プレゼンテーション研修、問題解決・論理思考研修、ファシリテーション研修
  - ③ 業務別研修
  - ④ その他
    - 社会福祉協議会活動全国会議、社会福祉士実習指導者講習会、市社協合同研修

### 2 共同募金等の配分事業 予算額：5,991,000円(6,000円減)

〔財源：共同募金配分金4,902,000円(81.8%)、市受託金1,089,000円(18.2%)〕

- 赤い羽根共同募金運動によって集められた募金のうち、市内の福祉団体に対し、総額4,875,000円の助成金を交付します。

〔交付団体〕

	団体名	助成金額
1	ボランティア連絡協議会	170,000
2	松戸市民生委員児童委員協議会（18地区）	2,735,000
3	特定非営利活動法人土曜会（こころの相談事業）	110,000
4	公益社団法人認知症の人と家族の会千葉県支部	60,000
5	松戸交通安全母の会	80,000
6	特定非営利活動法人女性と子どものスペース・ニコ	100,000
7	松戸市はつらつクラブ連合会	270,000
8	松戸地区保護司会	50,000
9	松戸地区更生保護女性会	50,000
10	NPO法人松戸に夜間中学をつくる市民の会	50,000
11	民間保育園（48件）	1,200,000
	合 計	4,875,000

- 松戸市の委託を受け市内の福祉団体に対し、総額 990,000 円の助成金を交付します。

[交付団体]

- ・松戸市遺族会 675,000 円
- ・松戸地区更生保護女性会 315,000 円

### 3 会費関連事業 予算額：694,000 円（130,000 円減）

[財源：市受託 10%事務費 694,000 円]

《寄付を地域福祉活動に活かそう》

- 町会・自治会等の協力のもと、各世帯に社協一般会費の納入を依頼します。
- 個人、団体、法人等に、特別会費や賛助会費の納入への協力を呼びかけます。

[会費納入実績]

区 分	一般会費 (円)	特別会費 (円)	賛助会費 (円)	合計 (円)
令和 5 年度	26,383,198	1,070,000	1,489,890	28,943,088
令和 6 年度見込	26,383,000	1,070,000	1,460,000	28,913,000
令和 7 年度予算	27,174,000	1,102,000	1,500,000	29,776,000

### 4 寄付事業 予算額：2,220,000 円（増減なし）

[財源：寄付金 1,700,000 円（76.6%）、繰越金取崩 520,000 円（23.4%）]

《寄付を地域福祉活動に活かそう》

- いただいた寄付金を地域福祉活動や生活困窮者対策等に活用します。

5 収益事業 予算額：27,792,000円（1,555,000円増）

〔財源：売店売上等 14,302,000円（51.5%）、自動販売機手数料等 10,072,000円（36.2%）  
自動販売機雑収入 3,418,000円（12.3%）〕

(1) 北山会館内斎場売店事業

- 北山会館内斎場売店を運営します。

(2) 自動販売機設置事業

《寄付を地域福祉活動に活かそう》

- 市内 34 か所に 62 台の自動販売機を設置・運営し、今後も増設に向け取り組みます。  
〔設置状況〕

年 度	区 分	設置場所 (か所)	設置台数 (台)	手数料収入 (円)
令和 5 年度		33	61	9,478,443
令和 6 年度見込		32	60	9,864,401
令和 7 年度予算		34	62	10,071,000

(3) その他収益事業運営

《寄付を地域福祉活動に活かそう》

- 収益事業の利益を本会の地域福祉事業を支える財源として役立てます。

## 5 各課共通事業

### 1 地域福祉活動計画推進委員会の開催 予算額：116,000円（3,000円減） 〔財源：市受託金10%事務費116,000円〕

- 松戸市地域福祉活動計画の進行管理と評価を行う委員会を開催します。

### 2 企画広報事業 予算額：6,635,000円（61,000円増） 〔財源：一般会費3,185,000円（48.0%）、特別会費1,102,000円（16.6%）、 共同募金配分金1,260,000円（19.0%）、資産取崩664,000円（10.0%）、 広告収入等424,000円（6.4%）〕

#### （1）まつど社協だよりの発行

- 本会事業を広く市民に周知するため、広報紙「まつど社協だより」を発行し、地区社協を通じて各町会・自治会の協力のもと、配布を行います。
- アンケート調査等を実施し、適切な配布方法について調査・研究を行います。

#### （2）ホームページの運営

- 本会事業及び地域の情報を広く市民に周知するため、本会ホームページ及びX（旧ツイッター）、Instagram、YouTube等の運営を行います。

#### （3）その他広報啓発事業

- デジタルサイネージ（電子看板）を設置し、積極的に活用します。
- 松戸まつりに出展し、本会事業及び地区社協の福祉活動をPRするとともに、千葉県共同募金会松戸市支会と連携して赤い羽根共同募金の募金活動を行います。
- 犯罪や非行の防止、犯罪者の更生について理解を広めるため、関係機関と連携して社会を明るくする運動を展開します。

### 3 松戸市福祉大会の開催 予算額：1,332,000円（161,000円増） 〔財源：共同募金配分金550,000円（41.3%）、市受託金10%事務費782,000円（58.7%）〕

- 地域福祉の増進に貢献し功労のあった方々を表彰し、感謝の意を表するとともに、松戸市の地域福祉の推進を図ることを目的に、松戸市福祉大会を開催します。

**4 地域福祉フォーラムの開催** 予算額：320,000円（増減なし）

〔財源：市補助金 320,000円〕

- 地区社協関係者と市内の社会福祉法人・施設などが交流する機会を設け、地域福祉課題について共通認識を持ち、相互の連携と協働意識の醸成をすすめます。

**5 こどもフェスタの開催** 予算額：375,000円（250,000円増）

〔財源：共同募金配分金 375,000円〕

《地域での交流を深めよう》

- 障がいのある子どもたちとその家族が気兼ねなく過ごす場を提供するとともに、保護者や支援者同士のつながりづくりを目的に、学生や企業等の協力により、「こどもフェスタ」を開催します。

**6 災害ボランティアセンター事業** 予算額：269,000円（41,000円増）

〔財源：市補助金 140,000円（52.0%）、共同募金配分金 129,000円（48.0%）〕

《災害対策に取り組もう》

- 大規模災害発生時に災害ボランティアセンターを設置運営します。
- 災害ボランティアセンターの周知及び運営について学ぶため、地域住民に向けた災害ボランティアセンター運営訓練並びに研修会を継続的に実施します。
- 本会、行政及びNPOの三者連携会議に引き続き出席します。

**7 歳末たすけあい募金配分金事業** 予算額：11,500,000円（1,000,000円減）

〔財源：歳末たすけあい募金配分金 11,500,000円〕

《寄付を地域福祉活動に活かそう》

《障がいのある人も住みやすい地域をつくろう》

- 新たな年を迎える時期に、支援を必要としている人たちが安心して暮らすことができるよう、歳末たすけあい運動によって集められた募金を、低所得者世帯や福祉施設・団体等に総額 11,500,000円を配分します。

〔配分実績〕

区 分	歳末たすけあい配分金額（円）						
	低所得世帯	福祉施設	地域在宅福祉活動	安心・安全なまちづくり	事務費	充当額返納金	合計
年 度							
令和5年度	2,333,000	2,648,654	5,836,036	357,310	625,000	700,000	12,500,000
令和6年度見込	3,741,000	2,545,000	5,392,000	197,000	625,000	0	12,500,000
令和7年度予算	3,502,000	2,520,000	4,992,000	0	486,000	0	11,500,000

8 フードバンク事業 予算額：231,000円（158,000円増）

〔財源：市補助金 50,000円（21.6%）、資産取崩他 181,000円（78.4%）〕

《寄付を地域福祉活動に活かそう》

《生活基盤を整えて自立した生活を送ろう》

- 個人や団体等から食品の寄付を募り、必要としている相談者や施設等に無償で提供するフードバンク事業を実施します。
- 各地区社協を窓口として市内全域で食品やベビー用品の寄付を受け取り、地域包括支援センター、基幹相談支援センター、親子すこやかセンター等の相談援助機関、子ども食堂等の子ども支援団体を通して必要としている人に届ける「ささえあいフードバンク」を開催します。